

奈良県産スギ材を用いた弦楽器開発について

密植、多間伐、長伐期という細やかな施業体系で育林された奈良県産スギ材は、年輪幅が狭く強度があり、木目が美しいという優れた特徴を持っています。

この特徴を活かす新たな用途として、平成27年度から奈良県産スギバイオリン開発事業に取り組み、平成29年1月にスギバイオリン1挺目が完成しました。それ以降も、平成30年度までに2挺目のスギバイオリンの他にビオラ、チェロを完成させ、スギ弦楽器による4重奏が可能となりました。

以降、奈良県産スギ材を活用した弦楽器は県内外の様々な演奏会で演奏され、樹齢250年を超えるスギ材が奏でる音色を楽しんでいただくとともに、奈良県産材のPRに向け活躍しているところです。

今後も、各種イベント、演奏会等で披露していきたいと考えておりますので、皆様、機会があれば是非、スギ弦楽器の演奏をお楽しみ下さい。



奈良県産スギ弦楽器演奏会
(ムジークフェストなら2019ガラ・コンサート)



スギバイオリン